



「再活」×2

不動産を「再活」し、日本を「再活」する。



2023年9月29日

各位

会社名 株式会社アルデプロ
 代表者名 代表取締役社長 椎塚裕一
 (コード番号 8925 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役常務執行役員 荻坂昌次郎
 企画本部長
 (TEL 03-5367-2001)

通期連結業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

2022年9月14日に公表いたしました2023年7月期(2022年8月1日～2023年7月31日)の連結業績予想数値と本日公表の実績値との間に下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想数値と実績値との差異(2022年8月1日～2023年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2022年9月14日発表)	百万円 24,000	百万円 3,400	百万円 3,000	百万円 2,400	円 銭 75.57
実績(B)	20,596	2,887	2,589	1,920	60.48
増減額(B-A)	△3,404	△513	△411	△480	—
増減率(%)	△14.2	△15.1	△13.7	△20.0	—
(ご参考)前期実績 (2022年7月期)	22,616	3,196	2,890	2,358	74.26

(注) 当社は2023年7月期より連結決算に再度移行しております。そのため、前期実績は個別決算の数値となります。

2. 差異の理由

当社は、2023年7月19日付「社外調査委員会の設置に関するお知らせ」にて公表したとおり、社外調査委員会を設置し、調査を実施してまいりました。同年9月27日付「社外調査委員会の調査報告書公表に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、類似事案の調査の結果、2023年7月期第3四半期に生じた一つの信託受益権の売買取引が経済的実質を伴わないため、営業取引として扱うべきではなく、売上計上はできないとの指摘を受けました。報告内容を検討し、上記指摘の信託受益権の売買の売上計上を取り消した結果、売上高が約74億円減少し、その収益は、営業利益ではなく、営業外の収益として計上いたしましたこと等により、期初予想に対し、売上高、営業利益は予想を下回りました。

また、貸倒引当金繰入額の計上や持分法適用会社の100%連結子会社化に伴う段階取得に係る差損等により、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益においても期初予想を下回る結果となりました。

以上